

(別紙様式)
令和3年度 学校自己評価システムシート (埼玉県立妻沼高等学校)

(A3判横)

目指す学校像	母校を誇れる生徒を育てる学校
--------	----------------

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 「学び直しから大学進学まで」を保障するため、分かる授業・伸ばす授業を実践する。 「礼儀、身だしなみ、時間厳守」を指導の基本として、思いやりの心と規範意識を醸成する。 体験活動やキャリア教育等とおして粘り強さを育て、一人一人の進路実現を図る。 地域と連携し、学校行事・生徒会活動・部活動等の活性化を図り、開かれた活力ある学校づくりを行う。
------	---

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	6名

年度目標		学校自己評価		学校関係者評価				
年度目標		年度評価(2月1日現在)		実施日 令和4年3月1日				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	<p>【現状】成績優良者や皆勤の生徒と学校生活において課題のある生徒など二極化しているが、学校全体としては落ち着いてきた。</p> <p>【課題】自分の意見をまとめて相手に伝える力の育成期限内に提出できる力を育む。授業確保を基本方針とした行事計画</p>	カルティベートタイム(CT)を軸とした教育活動の更なる充実と支援体制の継続	<ol style="list-style-type: none"> CTの充実・発展 R80の定着 学びの基礎診断の活用 授業時間の確保 整理整頓 提出期限の厳守 言語活動の充実 	<ol style="list-style-type: none"> CT研修会(年2回)、CT委員会の開催(毎月) R80実施回数の増加 学びの基礎診断の実施、分析、活用 年間行事計画の見直し 教室等の整理整頓(美化) 提出期限を意識した態度 発表・発言の機会の増加 	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、実施可能な行事について検討し、体育祭、遠足、文化祭などの行事を実施した。</p> <p>①全教員対象にCT研修会を実施した。認知機能強化トレーニングについて共通認識を図った。</p> <p>②継続して実施している。自分の意見を文章にまとめる力は向上しつつある。</p> <p>③学びの基礎診断は2回実施した。苦手分野の分析、活用等について継続的に検討を行う。</p> <p>④新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ、感染予防に努めながら実施可能な行事から行った。</p> <p>⑤教室内の整理整頓状況は良好である。</p> <p>⑥提出期限を意識した態度や行動も良好である。</p> <p>⑦飛沫防止への配慮の中で、各教員が生徒の発表・発言の機会を工夫した。</p>	B	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「成績優良者、皆勤者」と「中途退学者、転学者」の二極化の解消 提出物の期限内提出や学習習慣の定着 言葉によって自分の意見を伝える力の育成 <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none"> CT委員会を計画的に開催し、引き続きCTの取り組み方等の検討を行う。 生徒一人一人の実態に適した課題の量や質を検討する。 R80を活用することで言語活用の充実について検討する。 授業確保を基本方針とした行事の精選について引き続き検討する。 整理整頓指導を徹底し、学習環境を整備する。 	<p>・CTや先生方の努力で成績優良者、皆勤者が増加している。生徒たちが認められ、自信を持って学校生活を送ることができている。学習に自信のない中学生が入学後に自信を持ち高校卒業後の進路に夢を持てるようになってきていると思います。</p> <p>・「学び直し」というキーワードが、少しずつ妻沼高校の売りの部分として定着している。校長先生を始め先生方の努力、生徒への関わりが深いのでは。</p> <p>・中途退学者、転学者が出てしまうのは残念。理由はそれぞれだと思いますが高卒を目標に頑張ってもらいたい。わかる授業の大切さ。</p>
2	<p>【現状】皆勤者の増加や生徒指導の件数の減少など、学校全体が落ち着いてきた。</p> <p>【課題】予防的生徒指導体制の確立、特別な支援の必要な生徒への指導体制の確立スクールカウンセラーや外部専門支援機関等との連携</p>	本校の指導基本「礼儀・身だしなみ・時間厳守」の徹底及び保護者、外部専門機関、SC、特別支援巡回支援員、多文化共生推進員等との協体制の確立	<ol style="list-style-type: none"> 全教職員による「礼儀・身だしなみ・時間厳守」指導の実施 LHRや総合的な探求の時間を活用した、非行防止教室、交通安全教室、薬物乱用防止教室、ネットトラブル防止教室等の実施 生徒情報の共有化 外部専門家(SC、特別支援巡回支援員、多文化共生推進員等)や、サポート等の外部専門関係機関を活用した生徒支援 	<ol style="list-style-type: none"> ①②③④欠席、遅刻、早退者数の減少、問題行動による指導件数及び中途退学者の減少(昨年度比-25%) ①②③④生徒アンケートにおける母校となる妻沼高校を良くしたいと思う生徒の増加(前年度比+5%) ①②③④保護者アンケートにおける学校満足度の向上(前年度比+5%) ①問題行動防止のための職員による巡回 	<p>生徒指導部を中心に、空き時間に校内外の巡回を行い、予防的生徒指導を行うことができた。</p> <p>①②③④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の同時期(2学期末)よりも皆勤者の割合がやや増加となった。 ・礼儀・身だしなみ・時間厳守を守っていると答えた生徒は96.2%で、昨年度より8.4%増加した。 ・転退学者は、昨年は13名(2学期末)であったが、今年度は12名とやや減少した。 ・生徒指導件数は昨年は20件(2学期末)であったのが今年度は7件であった。 ・母校を良くしたいと答えた生徒数が増加した。(86.9%:前年度比+5.1%) ・校歌を歌いたいと答えた生徒はほぼ横ばいであった。(80.5%:前年度比+0.5%) ・妻沼高校に入学してよかったと答えた生徒は増加した。(91.2%:前年度比+5%) ・妻沼高校に子供を入学させて良かったと答えた保護者は、やや減少した。(95.8%:前年度比-0.6%) ・コーディネーターを中心に、外部専門家と連携した生徒支援が継続的に行った。 	A	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒指導件数、中途退学者の減少 教員の外部専門家への依存度が高まりつつある <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予防的指導の徹底 ①問題行動が生じる前又は早期に解決・対応できる予防的生徒指導体制の構築 ②外部専門機関(警察、児童相談所、サポートステーション)等との連携及び連携するための教員の資質向上 ③中学校への情報発信と連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ・外部専門家(スクールカウンセラー、特別支援巡回支援員等)と連携した生徒指導体制の深化 ・外部専門家間の情報共有支援 	<p>・毎日の先生方の声掛け等で妻沼高校が生徒にとって安心できる場所になっている成果が問題行動の減少としてあらわれていると思います。落ち着いて安心できる学校生活が送れていると思います。さらに母校を誇れる生徒の育成を目指した取組を進めていただければと思います。</p> <p>・妻沼地区内で、生徒に出会ったり、見かけたりしても態度もよく、挨拶もしてくれる生徒に会ったこともある。</p> <p>・生徒が落ち着いている様子を見ると安心します。挨拶も声をかけると返してくれます。通学することも大変だと思うが通えることがまず一歩。</p>
3	<p>【現状】学校紹介による就職希望者が全員内定するなど、卒業生の進路決定率が就職内定100%、進路決定90%を超えた。進路指導部と学年が一体となった指導も実現している。</p> <p>【課題】全卒業生の希望進路の実現に向けた3年間を見通したキャリア教育の実現 入学後の早い時期からの進路意識の向上</p>	全ての生徒の希望進路の実現に向け、将来の目標、希望を早期に意識させる進路指導体制の構築	<ol style="list-style-type: none"> 進路追跡調査、過去データの分析 早期離職防止策の検討 外部関係組織(熊谷市、商工会、ハローワーク等)、PTAとの協力・連携 進路報告会の充実 	<ol style="list-style-type: none"> 効果的な進路計画の立案 ①「進路の手引き」の活用(随時) ②進路決定率90%、就職内定率100%(学校紹介)、早期離職者の減少 ③段階的な面接指導(他校との合同集団模擬面接、ハローワーク・就職支援アドバイザーによる模擬面接の実施) ④3年生が1、2年生に進路に対する心構えや体験を伝える「進路報告会」の充実 ④インターンシップに代わる進路意識向上の方策 	<p>進路指導部と学年が緊密に連携した進路指導を実現することができた。</p> <p>①進路の手引きを活用し、計画的かつ組織的な進路指導に取り組むことができた。</p> <p>①頭髮髪装指導等の生徒指導が進路指導の重要な要素になっていることを多くの生徒に理解させることができた。</p> <p>②丁寧な指導の成果が実り、12月末現在、進学決定率は96%、就職内定率は92%であった。</p> <p>③就職支援アドバイザーをオンラインで活用し、企業人としての目線に立った面接指導、アドバイス等を実施した。</p> <p>③学校外のハローワーク職員や教員による面接指導を複数回実施し、校内での指導を充実させた。</p> <p>④進路報告会は、1・2年生の進路意識の向上に大きな役割を果たしただけでなく、3年生の成長にもつながった。</p>	A	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 就職未決定の生徒への指導 離職者の減少 <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CTやLHRを活用し、進路指導につながる基本的な指導を入学後の早い時期から取り組む。 ・三者面談等を活用し、保護者に対して、子供の卒業後の進路に係る意向について確認を行う。 ・ハローワーク、SC、サポートステーションと連携した進路指導を通じ、生徒の個に応じた指導を行う。 ・学校外の進路相談会等に積極的に参加し、生徒や保護者に、他校の生徒との競争であることを意識させる。 	<p>・妻沼高校で3年間頑張れば、進学や就職など次の進路が拓ける希望が持てることが、数値として示されています。在校生の自信になるとともに中学生の希望につながると思います。</p> <p>・入学当初からの進路指導が行き届いている。進学することが全て良いのではなく、自分がやりたいこと、将来の付きたい職業について小学校からキャリア教育を充実しなければいけないと改めて思った。</p> <p>・それぞれ進路に向けて積極的に取り組んでいると思いました。三者面談もありますが、もう少し学校(担任)、親、生徒と話し合える時間があるといいかと思いました。</p>
4	<p>【現状】新型コロナウイルス感染症の防止に努めつつ、運動部、文化部ともに活動が活性化している。</p> <p>【課題】部活動加入率の更なる向上、学校規模に即した部活動の精選。</p>	学校行事、部活動等を通して、心身ともに豊かな人間性の向上と学校の活性化の推進	<ol style="list-style-type: none"> PTA・後援会と連携した学校行事の実施 近隣小学校、中学校及び妻沼地域との連携 部活動加入率の向上、大会への参加、表彰回数 学校説明会などを通じた生徒募集 	<ol style="list-style-type: none"> 学校行事、PTA・後援会活動への保護者参加者数の増加 地元行事への積極的な参加、地元小学校との交流 地元行事への参加部活動の増加 部活動加入率の向上(10%)、表彰回数の増加 学校の様子等のHP随時発信、更新 	<p>考査前に部活動単位で勉強会を実施した部活があり、生徒の学習支援に効果があった。</p> <p>①新型コロナウイルス感染予防を行いながら、小学校との交流会にボランティア部が参加した。</p> <p>②日々の指導や補習等の実施により、検定試験の上位級合格者が増加した。</p> <p>③学校説明会は感染予防のため、事前に収録した動画を各教室に配信した。</p> <p>(その他)</p> <p>○コロナ禍でPTA行事を精選し、規模を縮小して実施した。</p>	B	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が元気で活気のある学校づくり 地域からの学校評価 <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動の精選と活性化 ・地元開催行事へのボランティア等での積極的な参加 ・PTA活動の精選と活性化 	<p>・生徒会、学校行事では、入学以前に中心となって活動した経験が少ない生徒が多いと思いますが、人前や集団の中心として活動できる場があることで、自信を持たせることができていると感じます。地域や保護者の理解と応援も素晴らしいと思います。</p> <p>・コロナ禍ではありますが、できる範囲で、地域交流をしていたことは素晴らしい。生徒の活躍ぶりをもっとPRするために、コロナが終息後も考えて実践してほしい。</p> <p>・コロナ禍においての活動は、思うようにはいかないところもありましたが、その時の状況においては、しっかり行われたと思います。継続してほしいと思います。</p>